

氏名 (法人にあっては名称)	エフビットコミュニケーションズ株式会社
住所	京都府京都市南区東九条室町23

自社等発電所(*1)の有無	無
---------------	---

電気事業の概要	<p>■電力小売事業 2016年6月より高圧以上の店舗・工場・ホテル・事務所・マンション共用部などへ電力小売を行っております。 また、マンション一括受電サービスも展開しており専有部向けの高圧供給も行っております。 2017年以降、小中規模の店舗など法人低圧需要家への提供、及び一般個人向け低圧需要家への提供を行っております。 2020年からは非化石証書を用いてCO2排出係数を抑える新サービスも開始しております。</p> <p>■発電事業 2020年8月にLNG火力発電所(千葉県)を取得し、需要家向けの自社電源として利用するとともに、一部は卸電力市場に販売しています。 広島市内の需要家に供給するための発電設備は保有しておりません。</p> <p>■メガソーラ事業 メガソーラー発電所の開発及び運用を行っております。 2021年2月時点で19箇所(合計出力97.2MW) 2021年3月までに1箇所5.8MW運開予定 2022年3月までに1箇所9.8MW運開予定</p>
---------	--

電気の供給における温室効果ガスの排出状況	年度	実二酸化炭素排出量	把握率
	前年度実績(2020年度)	16 (千t-CO ₂)	54.21 (%)

電気の供給における温室効果ガスの排出量の抑制に関する措置の実施状況	年度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度目標(2020年度)	0.499 (kg-CO ₂ /kWh)	0.510 (kg-CO ₂ /kWh)
	前年度実績(2020年度)	0.449 (kg-CO ₂ /kWh)	0.468 (kg-CO ₂ /kWh)

電気の供給における温室効果ガスの排出量の抑制に関する措置の実施状況	(措置の実施状況)
	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス発電所(自社発電所:2.0MW)を現在建設中 →2022年3月までに運用開始予定 ・NFV(Non-Fossil Value)サービスの実施 →電力供給と併せて、環境価値の主たる3つの価値「非化石・ゼロエミ・環境表示価値」を提供するサービスメニュー 2020年度導入実績(契約電力:200kW、年間供給電力量 554,000kWh) ・CO2排出係数が少ないLNG火力発電所との長期受給契約を締結(50MW受給) ・バイオマス発電所と再エネ特定卸供給契約を締結(2.0MW受給) ・オンサイトPPAモデルの構築 →企業の屋根に初期投資不要で太陽光発電システムを設置し、太陽光で発電した電力を売電ではなく、自家消費で使用し、環境価値のある安い電気をご利用

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。
 *2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量(実二酸化炭素排出量)を市内への電気の供給量(電気供給量)で除したものをいう。
 *3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置の実施状況	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度目標 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	前年度実績 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	(措置の実施状況)		
電気の供給における再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置の実施状況	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置の実施状況		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度目標 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	前年度実績 (2020年度)	103 (千kWh)	0.30 (%)
	(措置の実施状況)		
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況	特に無し		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置の実施状況	保有していない		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組の実施状況	弊社HPにある需要家ポータルサイトで日別/時間別の電力使用量をグラフで確認することが可能		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組の実施状況	オンサイトPPAモデルの構築 企業の屋根に初期投資不要で太陽光発電システムを設置し、太陽光で発電した電力を売電ではなく、自家消費で使用し、環境価値のある安い電気をご利用頂けるサービスの提供。 2021年度導入目標 出力5.0MW		

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。
 *5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。
 *6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。
 *7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。
 *8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。